様式２
（2018年度）

事業実績報告書

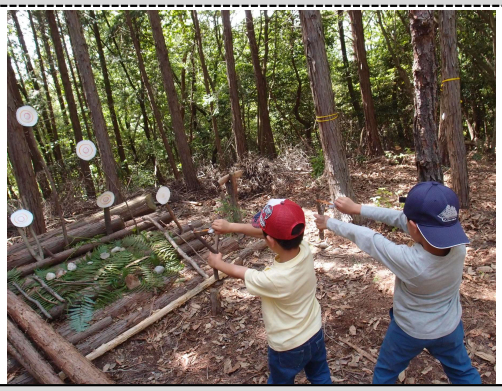
※この報告書は、なごや環境大学のウェブサイト上に記録として掲載されます。

講座番号	B-30	講座名	むささびっ子の森たんけん隊
記載日	2018/10/24	団体名・企業名	NPOチームばんどり

〈講座全体の概要〉(300字程度)

森の中で楽しみながら自然に親しみ、子どもの発想で思いっきり遊ぶことでその「生きる力」を育み、持続可能な社会づくりに貢献する人材を育成することを目的としています。
森の奥深くへの探検や木登り、雨の日の森体験、森林保全実践、焚き火、炊事体験などやりたくてもできなかった活動にチャレンジしました。特に最終回の雨の森たんけんは、夜のプログラムということもあいまって、興奮と驚きの体験となりました。

＜写真添付スペース（1～2点）＞



※写真1の説明	※写真2の説明
5/6，海上の森にて，　所有者の許可を得て、森の一角を自分たちの遊び場として整備しました。	9/29，犬山の森にて，　雨が降る夜の森で川を注意深く渡る子どもたち。石を置いて足場を作りました。

〈 企画・運営者の声（感想）〉(350字程度)

今回は、自分たちで探検の計画を立てて行動するという趣旨で行いました。森を歩いて全体像を知り、その中の一部をお借りして遊び場を作り、そこで遊ぶ。公園や遊園地と違って不自由なことばかり。そんな場所を自らの力で切り開き、整備して遊ぶというダイナミックな体験は、子どもたちに生きる力を与えてくれたはずです。大人は子どもの指示に従って、マンパワーを発揮。指示は決してせず、困った時だけ相談に乗るというスタンスで臨みました。その他、森全体を使って大規模な鬼ごっこをしたり、雨のなか夜の森にヘッドライトをともしながら入るという体験もしました。子どもだけでなく大人も大興奮で、思い出に残る山歩きになりました。回を重ねるごとに仲が良くなり、連続講座の効果が思う存分発揮できたと思います。

〈 受講者の声(実感した反応及びｱﾝｹｰﾄより) 〉(3～5点、計350字程度)

・三角点で食べたお弁当が、最高に美味しかったです。
・雨の森を肌で感じられて良かったです。雨天決行もいいですね。
・子どもに主体性を持たせるようにして、子どもが自分で考えられるのが良かった。
・鬼ごっこで、大人を捕まえられたのが嬉しかった。
・雨の中、しかも夜の森を歩くということで最初は戸惑いましたが、歩き出すと楽しくて必死で登りました。
　滅多にできることではないので、とても良かったです。